



発行所：松居直コレクション  
プロジェクト  
代表：金戸 美紀子  
事務局：石川県小松市  
小馬出町10-3  
空とこども絵本館  
☎ 0761-23-0033  
[bookrin@city.komatsu.lg.jp](mailto:bookrin@city.komatsu.lg.jp)



【活動方針】①絵本の楽しさを伝える 〈親子読書の奨励〉 ②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える 〈絵本文化の研究〉  
③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える 〈絵本文化の継承〉

◆素晴らしい図書館員でストーリーテラーのマーシャ・ブラウンさんが、ノルウェーの昔話を英語でストーリーテリングできるような文章に訳して、絵の勉強もしてこの絵本（『三びきのやぎのがらがらどん』）をお描きになつたんです。日本では、それを瀬田貞二さんが日本語訳してくださった◆ところが、今アメリカでは、この本では、未だにハードカバーで超ロングセラーです。ブラウンさんが、ある時「日本の子どもたちなぜ、ノルウェー



マーシャ・ブラウン絵  
瀬田貞二訳  
1965年/福音館書店刊

日本語訳の素晴らしさ

極めて絵本選びと絵本の話があんなに好きなんですか。本国版より日本版の方がよく出ています」とおっしゃいました◆私は即答できなかつたんですけど、よく考えたら日本語です。瀬田さんの見事な

◆日本語の特色は何かと申しますと、万葉集の時代からずーっとある“調べ”という特色なんですね。石井桃子先生も、調べは非常に敏感に持つてらっしゃいます◆ディック・ブルーナの本の『うさこちゃん』。「ふせこちゃん」でやると、すーっと子どもの中に入つて行くんです。ですから、アメリカでベストセラーにならなくても、日本ではちゃんと売れてるんですね。

日本語の調べを活かした言葉

◆日本語の特色は何かと申しますと、万葉集の時代からずーっとある“調べ”という特色なんですね。石井桃子先生も、調べは非常に敏感に持つてらっしゃいます◆ディック・ブルーナの本の『うさこちゃん』。「ふわふわ」という言葉が、この本で初めて使われたのです。

「作りをく  
ん」て訳さ  
れたのは石  
井先生です。オランダ  
語を英語に訳したもの  
をブルーナさんが送っ  
てくださったんですけど  
れども、石井先生はオ  
ランダの大使館へ行つ



◆「かつら文庫」なんかで子どもに原書を見せながら、その場で訳して読んだらつしゃるのを聞いてますと、英語を読みながら子どもに日本語で語つてらっしゃるんです。ですから子どもは、すーっとその物語に入つて行くんです。

◆『ピーターラビットのお話』。イギリスでは百年以上経つていて、日本で言えば明治時代の言葉のまんま伝えられていて、何せ物語が面白い。大人が読んで、ほんとに読み応えがあるんです◆ピアト・リクス・ポターって人

は、人間の本質みたいなもん、人間性みたいなのを豊かに感じる



ことができる人で、それを子どもに伝えようとして書いてるわけですから、目に見えるように生き生きと書いてる◆そして、挿絵がまた独特です。写実的にしつかりとした挿絵で、子どもに本当のものを見せるという挿絵を描いているんですね。この本は、物語がとっても難しいんだけども、それをちゃんと支えて見えるようにしてくれる挿絵が見事に組み合わされている本ですから、物語と絵と両方で読者は自分の中に生き生きとした世界を作ることができる◆さらに、人間の感性をしっかりととらえた物語展開がされている。そういうことを一つ一つ見極めて、子どもの本を選んで行かなきやいけませんし、また子どもの本を作らなければいけない。(つづく)